

自立活動の部屋

～かがやき☆自立活動通信～

平成30年11月30日



埼玉県立草加かがやき特別支援学校 自立活動専任



大きな行事であるきらきらまつりが終わりました。行事に向けた期間は日課の変更も多くありました。子どもたちはいつもと違う予定を見て、聞いて確認することで、見通しを持って行事に向かうことができていました。当日だけでなく、当日までの過程もたくさんほめていただければと思います。

さて、今回の通信は、前回に続いて“サバイバルスキルを身につけること”についてお伝えします。今回は公共施設の利用と人とのやりとりについて、支援、指導例を取り上げていきます。ご家庭との連携を大切にしていきながら、冬休みに向けてご家庭での過ごし方の参考になればと思います。

【前回の通信より抜粋】

- ・サバイバルスキルとは…生活する地域社会で自立するために必要な協調的で社会に主体的参加が可能となるスキルのこと(渡部 2010 引用)。
- ・学校で支援・指導したことが家庭でも活かされることで、子どもたちの生活の豊かさにつながる。そして、子どもたちの力が発揮される場面を生活の中に意図的に設定していくことが必要となる。

「公共のさまざまな施設を使ってみよう！！」

子どもたちの生活に身近な公共の施設といえば、以下のようなものがあります。

- ・移動手段…電車、バス、タクシーなど
- ・教育的施設…図書館、児童館など
- ・娯楽施設…カラオケ、ボウリング場、ゲームセンターなど

特に、移動手段については、学校や仕事、趣味で出かけるときなど利用する機会が多くあります。移動手段の利用方法を知って1人で使えるようになることで、行きたいところまで自分の力だけで行くことができるようになり、行動範囲も広がります。

＜切符を買ってみよう！＞

電車に乗るには、切符やICカードを使うことが必要になります。切符を買うには、目的地までの金額を運賃表から探す→券売機のボタンを押す→お金を入れる→出てきた切符を取る流れがあります。手順が多い分、言葉だけの説明では流れを見通すことが難しい場合があります。見て分かるツール（運賃表や券売機の写真、実際の切符など）を使ったり、本物に見立てた教材を活用したりして手順を伝えていきます。また、ICカードは事前にお金を入れておけば切符を使うよりも簡単に電車を利用することができ、使いやすいツールの1つです。日頃から子どもと一緒にさまざまな方法を試しながら、子どもが1人でも使える方法を見つけて教えていくことができるとよいと思います。

①いくら かかるのか しらべる



見て分かる方法で手順を伝えることで、電車に乗る流れを全員で確認します。

学校では、券売機を作り、お金の入れ方や切符を取るなどの必要な流れに取り組んでいます。



<電車>

- ・改札、乗降口の表示が分かりやすい。(番号や色で分けられている)
- ・乗り換えで間違えてしまうと、どのように対応すればよいか分からなくなることがある。

<タクシー>

- ・行き先を伝えることができれば、確実に目的地まで連れて行ってくれる。(筆談対応ができるタクシーもある)
- ・運転手によっては、雑談への対応が難しい場合もある。必要なことのみ話す練習もよい。

<バス>

- ・バス会社や地域によって乗り降りの方法や運賃の払い方が異なる。
- ・実際に乗るバスでの乗り方を具体的に伝えると分かりやすい。

<自転車>

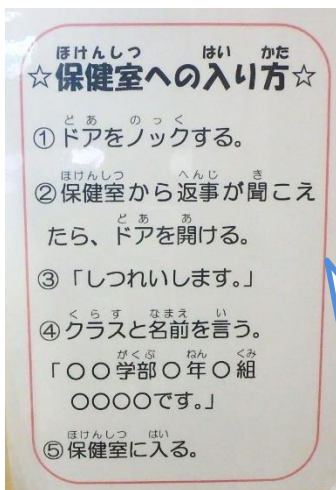
- ・交通ルール(道路上で走ってよい場所など)を理解すれば、自分のペースで活用できる。
- ・駐輪場の使い方や鍵の管理の仕方など、乗る場面以外の使用方法も伝える必要がある。

どの乗り物でも、「時間通りに来ない」「乗り換えに失敗した」など困る場面に出くわすことが想定されます。困ったときの連絡先を事前に確認する、マニュアルにして子どもに持たせる、自分で携帯電話などのツールで調べる、などの方法を身につけておくと、慌てずに対応がしやすくなります。

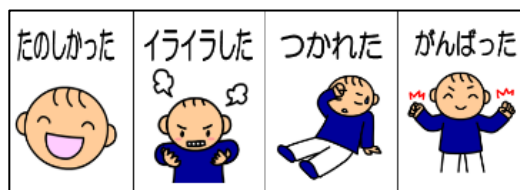
「困った時に助けを求めることができるようにしよう！！」

社会に出ると、さまざまな人とつながる場面が学校生活以上に多くなります。また、伝える相手がいつも同じ人とは限らなくなり、誰にでも伝わる手段が必要になる場面もあると思います。卒業後を見据えると、1人でできることだけでなく、「できない時に大人（支援者）の助けを借りながら最後までやりきる」力も大切です。人とつながることが苦手な子どもは多いですが、適切なかわり方ができたことで自信を持ち、主体的に生活していける力を学校生活の中で伸ばしていけるとよいと考えます。

学校の中では、使う言葉（セリフ）を文字情報で示したり、イラスト入りのカードを使ったりして、子どもたちに分かる手段を使いながら、子どもに合った表出方法を身につけています。



入るときの手順が保健室のドアに貼ってあります。一連の流れを細分化して伝えることでそれぞれの動きが分かりやすくなり、子どもの主体的な行動を引き出しやすくなります。



自分の気持ちを表すことや、言葉でのやりとりが難しいときには、カードを使って伝える練習をしています。特定の人でなくても、自分の気持ちが伝えられるツールとして活用できます。

☆第2回かがやき保護者学習会のお知らせ☆

テーマ 「充実した家庭生活のために～今からできる支援について考えよう～」

日時 12月14日(金) 10:30～12:10(受付開始10:00)

保健部、進路指導部、自立活動専任、それぞれの視点からの講話や意見交換を行います。家庭生活の中で活かすことのできる情報や取組を少しでも多くお伝えできたらと考えています。